

目 次

I. 和歌山大学南紀熊野サテライトについて	1
1. 南紀熊野サテライトの紹介	1
2. 2つの受講制度	2
II. 大学院科目等履修生の募集	4
1. 出願および履修願の手続き	4
2. 出願書類等	
㊦南紀熊野サテライト大学院科目等履修生願書	6
㊧履歴書	7
㊨令和6年度前期検定料の納入について	8
III. 学部開放授業受講者の募集	9
1. 聴講申請の手続き	9
2. 申請書類等	
㊩学部開放授業受講者聴講申請書(新規聴講生用)	11
㊪学部開放授業聴講申請書(登録有効期間中の聴講生用)	12
㊫令和6年度前期学部開放授業の聴講料の納入について	13
㊬学部開放授業申請書類受付通知はがき	
IV. 令和6年度前期 南紀熊野サテライト開講授業	14
1. 大学院授業	14
2. 学部開放授業	16

I. 和歌山大学南紀熊野サテライトについて

1. 南紀熊野サテライトの紹介

- 和歌山大学南紀熊野サテライトは、大学の研究・教育機能を活用して地域づくりに貢献する「大学の地域ステーション」をめざしています。
- 地域社会と共に育ちあう、創造的な教育、研究、社会連携活動を行います。

和歌山大学南紀熊野サテライトは、地域の現実に対峙し、4つの視点から地域社会と共に育つ、創造的な教育・研究、社会連携活動をめざします。

1. 地域の知の拠点として
2. 大学の知的財産は地域資源
3. 地域・産・学・官みなが共に成長する仕組みづくり
4. 地域知の可能性を引き出す

和歌山大学は和歌山県との連携にもとづき、平成17年4月、県立情報交流センターBig・uに南紀熊野サテライト(設置当時は紀南サテライト)を開設しました。

南紀熊野サテライトは全国の地域型サテライトのさきがけであり、下記の事業を行っています。

1. 地域住民の多様な教育ニーズに対応した特色ある高等教育の実施
2. 地域研究の推進および地域の課題をふまえた生涯学習の機会提供
3. 地域自治体、企業等と連携した地域活性化に資する事業の実施
4. 高校を含めた地域に対する大学情報の発信

地域課題に沿った科目を開講



大学院科目の様子



機材を使った実習の様子



学部開放科目の様子



「南紀熊野の自然」現地実習の様子

2. 2つの受講制度

和歌山大学には、社会人等を対象とする「大学院科目等履修制度」と「学部開放授業受講制度」(※高校生は「高校生を対象とした大学授業の公開制度」)があり、それらを南紀熊野サテライトで利用できます。

令和6年度前期に南紀熊野サテライトで受講できる制度の概要は以下のとおりです。

	大学院科目等履修制度	学部開放授業受講制度
区 分	大学院科目等履修生	学部開放授業受講者
資 格	大学を卒業した者又は学校教育法施行規則第155条の規定により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者	18歳以上 ※和歌山県内の高校に在学の高校生は「高校生を対象とした大学授業の公開制度」で聴講が可能です。
選 考	願書および履歴書等による選考	なし(年齢確認のみ)
成績評価	あり	なし
単位認定	あり(成績評価「合格」の者)	なし
費 用	検定料 5,000円 入学料 10,000円 授業料 14,400円(1単位につき)	聴講料 11,000円(1科目) ※令和4年度より登録料の制度が廃止されました。ただし経過措置として、登録期間の有効期限が2024年4月1日以降の開放授業生については、有効期限までは聴講料は、10,000円(1科目)となります。
経済学研究科修士課程への進学	【詳しくは経済学研究科修士課程学生募集要項をご覧ください。】 科目等履修生として修得した単位は、入学後に修得した単位として18単位まで認められる場合があります。	

大学院科目等履修制度とは

【概要】

- 大学院の授業を原則、土曜日の日中を中心に、Big・u(田辺市)で開講します。
フィールドワーク(現地調査)を行う授業もあります。保険料や交通費等は各自の負担となります。
- 入学資格は、大学を卒業した者又は学校教育法施行規則第155条の規定により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者で、書類審査等による選考があります。
- 科目等履修生として入学し、受講後に合格判定を受ければ、所定の単位を取得できます。
- 本学(栄谷キャンパス)および岸和田サテライトで開講される大学院授業についても、科目等履修生として受講することができます。

○1学期毎(通年科目は1年毎)に履修申請が必要です。

【和歌山大学大学院経済学研究科修士課程への進学】

令和3年度から経済学研究科改組に伴い、プログラム制となっています。経済学研究科に進学希望の方は、出願前に修了要件等について5ページの問い合わせ先までご照会ください。

○既修得単位認定制度

南紀熊野サテライトの科目等履修生が本学大学院経済学研究科に入学した場合、本サテライトでの取得単位を含め、入学前に本学および岸和田サテライトの大学院科目等履修生として修得した単位は、18単位を上限として認められることがあります。

○社会人短期履修制度

本研究科修士課程社会人特別選抜の出願資格を満たし、本研究科科目等履修生として6単位以上を修得していれば、通常は修了に2年かかる修士課程を、最短1年で修了することもできます。

※改組に伴い令和3年度以降は、「南紀熊野サテライトコース」を利用することはできなくなりました。

学部開放授業受講制度とは

【概要】

○学部開放授業(連携展開科目)を土曜日の日中を中心にBig・u(田辺市)他で開講します。18歳以上(高校生は2ページをご覧ください。)であれば受講者として登録できます。試験等による成績評価や単位認定もないため、関心のある授業を気軽に受講していただけます。

【受講可能期間】

○初回聴講からの4年間を「登録期間」として以降の登録料を免除してきましたが、令和4年度より登録料を免除する制度を廃止しました。

ただし経過措置として、登録期間の有効期限が2024年4月1日以降の開放授業生については、有効期限までは今までどおりとします。この場合、1科目あたりの聴講料は10,000円となります。

II. 大学院科目等履修生の募集

1. 出願および履修願の手続き

募集科目

科目名、授業内容、開講日時等については、14ページ以降をご参照ください。

※この募集要項に掲載のシラバスは後日変更となる可能性があります。正式なシラバスは和歌山大学のホームページから確認してください。

※令和6年度前期の授業は、対面授業を行います。修士課程の学生は、オンラインで受講する場合があります。本学の授業実施状況に準じて遠隔授業(オンライン)に切り替えることもあります。切り替わった際に必要な受信端末やネット環境は、各自で準備してください。(授業内容を録画することもあります。)

募集人数

各科目とも、若干名

出願期間・出願方法

令和6年2月20日(火)～2月27日(火)(必着)

出願書類等を学務課学部等支援室経済学部係宛に郵送してください。その際、封筒の表に「南紀熊野サテライト大学院科目等履修生出願書類在中」と朱書きし、「特定記録」で送付(期限必着)してください。

【出願される方】

○入学資格

①大学を卒業した者

②学校教育法施行規則第155条の規定により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者

※入学資格について不明な点がある方は、検定料振込前に学務課学部等支援室経済学部係にお問い合わせください。振込後の返金はいたしかねます。

※入学資格②による志願者は、事前に審査を行いますので、出願開始1ヵ月前までに経済学部係に申し出をしてください。

○検定料

5,000円

○出願書類

「南紀熊野サテライト大学院科目等履修生願書」(用紙㉗)

振込依頼書(用紙㉘)を利用して最寄りの銀行等にて検定料を振込み、振込依頼書のC票「振込金受付証明書」を願書の所定の位置に貼付してください。

「履歴書」(用紙㉙)

大学等の卒業(修了)証明書(卒業・修了見込の方は見込証明書)

証明書を卒業大学等から取り寄せ、履歴書に添付してください。

改姓・改名の場合は、戸籍抄本等それが分かる書類を添付してください。

返信用封筒(結果通知用)

角型2号封筒(100g以内)に出願者の郵便番号・住所・氏名を記入し、簡易書留で返送できるよう必要な額の切手を貼ってください。

※提出する書類は、すべて原本とし、コピーは認めません。

卒業(修了)証明書の原本は、過去に提出されている場合は、その証明書のコピーあるいは過去に発行された科目等履修生履修可能期限証(カード)または、利用等履修生証(カード)のコピーでもかまいません。

選考および結果通知

提出された願書および履歴書等で審査を行います。選考結果は、3月13日(木)までに返信用封筒にて郵送します。届いていない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。合格者には入学手続書類を同封します。

入学手続期間・手続方法

令和6年3月14日(木)～3月15日(金)(必着)

手続書類を学務課学部等支援室経済学部係まで郵送(期限必着)してください。詳細は入学手続書類に記載します。

入学料および授業料

入学料 10,000円

授業料 14,400円(1単位につき)

詳細は、入学手続書類に記載します。

※所定の期日までに授業料が納付されなかった場合は除籍となります。(入学手続後のキャンセルについては入学手続書類を確認してください。)

その他

- ・出願後、授業科目の開講日時・場所・担当教員等に変更等が生じる場合がありますので留意してください。なお、これらの変更により受講が困難になった場合は、問い合わせ先までご相談ください。
- ・科目等履修生は通学定期の購入及び学割の利用はできません。
- ・障害を有する志願者で履修上特別な配慮を必要とする場合は、出願前に問い合わせ先までご相談ください。

出願先・問い合わせ先

窓 口	住 所	電話番号・電子メール
和歌山大学 学務課学部等支援室経済学部係	〒640-8510 和歌山市栄谷930	073-457-7805 ecogakumu@ml.wakayama-u.ac.jp

令和 年 月 日

南紀熊野サテライト大学院科目等履修生願書

和歌山大学長 殿

氏名(署名) _____

下記の科目を科目等履修生として履修したいので、入学を許可願います。

記

履修希望科目

希望科目	科 目 名	単位数
<input type="checkbox"/>	開発経済学	1
<input type="checkbox"/>	産業組織論	1

(: 該当するものに「レ」を記入してください。)

履修期間の開始 令和6年4月1日

履修科目数	科目
-------	----

履修総単位数	単位
--------	----

5,000円

科目等履修生
振込金受付証明書
貼り付け欄

付属の振込依頼書(用紙㊟)を利用し、最寄りの銀行等にて振込後、C票(振込依頼書の左端)をお貼りください。

振込後の返金はいたしかねます。

取扱金融機関の収納印のないものは無効です。

履 歴 書

ふりがな 氏 名	男 ・ 女		写 真 欄 (3×4 cm)
生年月日	昭和 平成 (西暦 年 年)	年 月 日 生	最近3ヶ月以内に 撮影の上半身正面 脱帽とする
現住所	(〒 -) TEL.() -		
日中の連絡先 (勤務先・携帯電話等)	(〒 -) TEL.() - E-mail.		
最終学歴 卒業証明書添付要	(年制)	入 学 ----- 年 月	卒 業 ----- 年 月
勤 務 先 (在職者のみ)			年 月～

令和6年度前期検定料の納入について（南紀熊野サテライト大学院科目等履修生用）

① 出願資格について確認を必要とする方は、学務課学部等支援室経済学部係(073-457-7805)へ確認後振込むようにしてください。

(出願資格の欠格が多々見受けられますので、特に注意してください。)

② この振込依頼書に必要事項を記入のうえ、「電信扱」が利用できる金融機関窓口から振込んでください。

※ ゆうちょ銀行からは振込みできません。

※ A T M (現金自動預払機)、携帯電話、パソコン等からは振込まないでください。

※ 振込手数料は、依頼人負担となります。

③ 「振込金受付証明書(C票)」と「振込金領収書(B票)」は、金融機関の取納印があることを確認のうえ、受け取ってください。

④ 「振込金受付証明書(C票)」は、願書の所定欄に貼付してください。

⑤ 「振込金領収書(B票)」は本人の控えとして、大切に保管してください。

〈振込依頼書等記入要領〉

① 太線の枠内は必ず記入してください。

② 志願者氏名は、必ず志願者本人の「氏名、フリガナ」を記入してください。



切り取って、金融機関にお出しください。

C 票 振込金受付証明書

令和6年度前期入学検定料
(願書所定欄貼付用)

依頼日	令和	年	月	日
金額	5,000	円		
振込先銀行	紀陽銀行 紀の川支店			
受取人	和歌山大学			
フリガナ				
志願者氏名				

取納印のない場合は、無効となります。

取納印

(ご依頼人→大学)

B 票 振込金領収書(本人保存)

令和6年度前期入学検定料

依頼日	令和	年	月	日
金額	5,000	円		
振込先銀行	紀陽銀行紀の川支店			
受取人	普通預金	0766935		
フリガナ	和歌山大学			
志願者氏名				
振込手数料	円			

取納印

(取扱店→ご依頼人)

切り離しのうえ願書の所定欄に貼付して提出してください。

A 票 振込依頼書

令和6年度前期入学検定料

依頼日	令和	年	月	日
振込先銀行	紀陽銀行 紀の川支店 (普)			
口座名	ワカヤマダイガク 和歌山大学			
整理番号	5	6	1	
フリガナ				
志願者氏名				
住所				
振込指定	0766935			
金額	5,000			
電信扱	円			
手数料	円			
依頼人				
ご依頼人				

* 金融機関へのお願い

1. 整理番号、志願者氏名(フリガナ)は必ず打電してください。
2. B票・C票は、押印のうえ、必ず依頼人へお返しください。

取納印

(取扱店保存)

Ⅲ. 学部開放授業受講者の募集

1. 聴講申請の手続き

聴講資格

18歳以上(高校生は除く)であれば、どなたでも可能です。(受講申請に際しての審査や単位はありません。)

※高校生は2ページをご覧ください。

募集科目および募集人数・会場

※この募集要項に掲載のシラバスは後日変更となる可能性があります。正式なシラバスは和歌山大学のホームページから確認してください。

※本学の授業実施状況に準じて遠隔授業(オンライン)に切り替えることもあります。切り替わった際に必要な受信端末やネット環境は、各自で準備してください。

※授業によっては、授業内容を録画することがありますので、ご了承ください。

「東牟婁地域の自然」

(10名程度)……東牟婁地域

「紀州の食とマネジメント」

(15名程度)……紀南地域

「熊野祭礼学」

(30名程度)……田辺市会場

※お問い合わせは、会場ではなく次頁の和歌山大学南紀熊野サテライト迄お願いします。

申請期間・方法

令和6年4月4日(木)～4月19日(金)(必着)

以下「必要となる書類等」を参考に、申請書類を和歌山大学南紀熊野サテライト宛に郵送してください。

その際、封筒の表に「学部開放授業書類在中」と朱書きし、「特定記録」で送付してください。

※持参による申請は、不在の場合がありますので事前に事務室にご連絡ください。

※必ず上記申請期間内に手続き(振込み等)してください。

(申請期間より前(4月4日より前)の申請(振込み等)は、正しく登録されないことがあります。)

(注)学部開放授業の開講日は、重複する日程がありますので、複数科目を受講される場合は、ご注意ください。

必要となる書類等

1. はじめて聴講申請される方 2. 登録の有効期限が2024年3月31日以前の方	2024年4月1日現在、登録有効期間中の方										
<input type="checkbox"/> 学部開放授業受講者聴講申請書 (用紙㊸) <input type="checkbox"/> <table border="0"> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">・聴講料</td> <td rowspan="3" style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">{</td> <td>11,000円 (1科目の場合)</td> </tr> <tr> <td>22,000円 (2科目の場合)</td> </tr> <tr> <td>33,000円 (3科目の場合)</td> </tr> </table> <p>→最寄りの銀行等にて振込依頼書(用紙㊹)により合計額を振込んだうえ、「C票振込金受付証明書」を用紙㊸の所定の位置に貼付してください。</p>	・聴講料	{	11,000円 (1科目の場合)	22,000円 (2科目の場合)	33,000円 (3科目の場合)	<input type="checkbox"/> 学部開放授業聴講申請書<開放授業登録済者用> (用紙㊹) <input type="checkbox"/> <table border="0"> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">・聴講料</td> <td rowspan="3" style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">{</td> <td>10,000円 (1科目の場合)</td> </tr> <tr> <td>20,000円 (2科目の場合)</td> </tr> <tr> <td>30,000円 (3科目の場合)</td> </tr> </table> <p>→最寄りの銀行等にて振込依頼書(用紙㊹)により合計額を振込んだうえ、「C票振込金受付証明書」を用紙㊹の所定の位置に貼付してください。</p>	・聴講料	{	10,000円 (1科目の場合)	20,000円 (2科目の場合)	30,000円 (3科目の場合)
・聴講料			{	11,000円 (1科目の場合)							
				22,000円 (2科目の場合)							
	33,000円 (3科目の場合)										
・聴講料	{	10,000円 (1科目の場合)									
		20,000円 (2科目の場合)									
		30,000円 (3科目の場合)									
<input type="checkbox"/> 申請書類受付通知はがき㊺ 郵便番号、住所、氏名を記入し郵送分の切手を貼付して、申請書類とともに必ず同封してください。切手のないものは送付しません。 ※持参による申請の場合は、はがきは不要です。	<input type="checkbox"/> 申請書類受付通知はがき㊺ 郵便番号、住所、氏名を記入し郵送分の切手を貼付して、申請書類とともに必ず同封してください。切手のないものは送付しません。 ※持参による申請の場合は、はがきは不要です。										

※受講登録後の払戻しはできません。

高校生を対象とした大学授業の公開制度(P.2)による高校生の受講料は別途設定されております。

和歌山大学ホームページよりご確認ください。

※改定があった場合は、改定後の金額とします。

※フィールドワークに伴う保険料、交通費等諸費用は各自のご負担となります。

申請書類受付通知

申請書類受理後、お送りいただきました受付通知はがきを送付します。募集期間終了日(4月19日)から3～4日過ぎても受理通知はがきが届かない場合は、下記窓口へお問い合わせください。

受講通知

授業開始日の10日前頃までに、授業案内(教室等お知らせ)を送付します。

登録および申請先・問い合わせ先

窓 口	住 所	電話番号・電子メール
和歌山大学 南紀熊野サテライト	〒646-0011 田辺市新庄町3353-9-102 和歌山県立情報交流センターBig・u内	0739-23-3977 (fax 0739-23-3978) nankuma@ml.wakayama-u.ac.jp

※開室時間 10:00～17:00 (日曜・月曜・祝日休み)

なんらかの支援または情報保障が必要な方は、3月29日(金)までにご連絡ください。

令和 年 月 日

学部開放授業受講者聴講申請書

和歌山大学長 殿

写 真 欄
(3 × 4 cm)

最近3ヶ月以内に
撮影の上半身正面
脱帽とする

申請者

フリガナ
氏 名(署名) _____
 生年月日(西暦) _____ 年 _____ 月 _____ 日(男・女)
 現住所(〒 _____)

 電話番号(_____) _____ 職業 _____
 携帯電話番号 _____
 E-mail _____

保護者(※申請者が未成年の場合に必要)

氏 名(署名) _____
 申請者との続柄(_____)

※楷書で丁寧に自書すること。
 ※氏名の漢字は、登録者証に使用できる漢字以外については代替の文字(カタカナを含む)となります。

下記の開放授業の聴講を希望しますので、申請します。

記

希望科目	聴講希望科目名
<input type="checkbox"/>	東牟婁地域の自然
<input type="checkbox"/>	紀州の食とマネジメント
<input type="checkbox"/>	熊野祭礼学

1 科目 11,000円
 2 科目 22,000円
 3 科目 33,000円

新規聴講者
 振込金受付証明書
 貼り付け欄

付属の振込依頼書(用紙㊸)を利用し、最寄りの銀行等にて振込後、C票(振込依頼書の左端)をお貼りください。

振込後の返金はいたしかねます。

取扱金融機関の収納印のないものは無効です。

※ATM又はネットバンキングで振込まれた方は、下の□に✓を記入して下さい。

- ATMにて振込
- ネットバンキングにて振込

以下、大学記入欄

学 生 番 号 : _____

発行年月日 : 20 _____ 年 _____ 月 _____ 日

有効期限 : 20 _____ 年 _____ 月 _____ 日

学部開放授業聴講申請書 (開放授業登録済者用)

和歌山大学長 殿

申請者

学生番号 _____

氏名(署名) _____

生年月日(西暦) _____ 年 _____ 月 _____ 日 (男・女)

現住所(〒 _____)

電話番号(_____) _____ 職業 _____

携帯電話番号 _____ - _____ - _____

E-mail _____

保護者 (※申請者が未成年の場合に必要)

氏名(署名) _____

申請者との続柄 (_____)

下記の開放授業の聴講を希望しますので、申請します。

記

希望科目	聴講希望科目名
<input type="checkbox"/>	東牟婁地域の自然
<input type="checkbox"/>	紀州の食とマネジメント
<input type="checkbox"/>	熊野祭礼学

有効期限(西暦) 20 _____ 年 _____ 月 _____ 日

(学部開放授業登録者証を参照ください。)

「学部開放授業登録者証」のコピー貼付欄

1 科目 10,000円
 2 科目 20,000円
 3 科目 30,000円

登録期間中の聴講者
 振込金受付証明書
 貼り付け欄

付属の振込依頼書(用紙㊦)を利用し、最寄りの銀行等にて振込後、C票(振込依頼書の左端)をお貼りください。

振込後の返金はいたしかねます。

取扱金融機関の収納印のないものは無効です。

※ATM又はネットバンキングで振込まれた方は、下の□に✓を記入して下さい。

- ATMにて振込
- ネットバンキングにて振込

令和6年度前期学部開放授業の聴講料の納入について（南紀熊野サテライト用）

費用は、新規受講申請者(用紙④)での申請)は聴講料11,000円(1科目につき)となります。
更新受講申請者(用紙⑤)での申請)は聴講料10,000円(1科目につき)となります。

①この振込依頼書に必要な事項を記入のうえ、「電信扱」が利用できる金融機関の窓口から振込んでください。

※ゆうちょ銀行からは振込みできません。

※ATM(現金自動預払機)・ネットバンキングでも振込み可能ですが、その際は下記の振込依頼書に記載の銀行口座に、振込依頼人欄には整理番号「69」と氏名を記入の上(例 69 ワダイ タロウ)、金額に過不足のないようお願いください。

※振込手数料は、依頼人負担となります。

②「振込金受付証明書(C票)」は、申請書の所定欄に貼付してください。

③「振込金領収書(B票)」は本人の控えとして、大切に保管してください。

〈振込依頼書等記入要領〉

- ① 太線の枠内は必ず記入してください。
- ② A票・B票・C票の金額欄は、聴講料の合計を記入してください。
- ③ 受講者氏名は、必ず受講生本人の「氏名、フリガナ」を記入してください。

切り取って、金融機関にお出しください。

C票 振込金受付証明書

令和6年度前期聴講料
(申請書所定欄貼付用)

依頼日	令和	年	月	日
金額	円			
振込先銀行	紀陽銀行 紀の川支店			
受取人	和歌山大学			
フリガナ				
受講者氏名				

収納印のない場合は、無効となります。

収 納 印

(ご依頼人→大学)

B票 振込金領収書(本人保存)

令和6年度前期聴講料

依頼日	令和	年	月	日	
金額	円				
振込先銀行	紀陽銀行紀の川支店				
受取人	普通預金	0766935			
フリガナ	和歌山大学				
受講者氏名					
				振込手数料	円

収 納 印

(取扱店→ご依頼人)

A票 振込依頼書

令和6年度前期聴講料

依頼日	令和	年	月	日
振込先銀行	紀陽銀行 紀の川支店(普)			
口座名	ワカヤマダイガク 和歌山大学			
整理番号	69			
フリガナ				
受講者氏名				
住所				
振込指定	0766935			
金額	円			
内	現金			
取	手数料			
依頼人負担				

金融機関で切り離してください。

ご依頼人	電話番号 ()
------	----------

*金融機関へお願い

- 1. 整理番号、受講生氏名(フリガナ)は必ず打電してください。
- 2. B票・C票は、押印のうえ、必ず依頼人へお返しください。

収 納 印

(取扱店保存)

IV. 令和6年度前期 南紀熊野サテライト開講授業

1. 大学院授業

授業科目名 (英文表記)	開発経済学 (Development Economics)		
単位数	1	授業形態	講義
担当教員	金澤 孝彰		
開講	南紀熊野サテライト	区分	大学院
実施日・時間	第1回：5月11日(土) 13:00～17:00	第3回：5月25日(土) 13:00～17:00	
	第2回：5月18日(土) 13:00～17:00		
<p>【授業のねらい・概要】</p> <p>アジアおよびサブサハラ・アフリカを主たる考察対象地域として、それらの地域での貧困問題解決につながる産業分野での技術革新や集積の効果について考察していく。</p> <p>【授業計画】</p> <p>第1回 貧困問題の解決を目指す開発経済学(教科書第1章) 農業の特性① 農家規模と生産性(同 第2章) 農業の特性② 所有権・小作契約・生産性(同 第3章)</p> <p>第2回 製造業の特性① 産業集積の発展パターン(同 第4章) 製造業の特性② 適正な技術と産業の選択(同 第5章) 技術移転と農業発展① アジアの緑の革命(同 第6章)</p> <p>第3回 技術移転と農業発展② アフリカの緑の革命(同 第7章) 技術移転と工業化 産業集積の発展(アジアとアフリカそれぞれの事例)(同 第9章・第10章)</p> <p>【到達目標】</p> <p>受講院生各自が新興国の現在の経済をめぐる諸問題の理論的、制度的、歴史的背景を把握できるようにする。</p> <p>【成績評価の方法】</p> <p>100点満点のうち、授業中での議論参加ぐあいを50点満点、最終回での単位認定レポート提出を50点満点とする。</p> <p>【教科書】</p> <p>大塚啓二郎(著)『「革新と発展」の開発経済学』東洋経済新報社、2023年</p> <p>【参考書・参考文献】</p> <p>戸堂康之(著)『開発経済学入門(第2版)』新世社、2021年 山形辰史(著)『入門 開発経済学—グローバルな貧困削減と途上国が起こすイノベーション』中公新書、2023年</p> <p>【履修上の注意・メッセージ】</p> <p>集中講義は5月ですが、4月の履修登録確定時点で、上記の使用教科書(大塚(著))の章別内容発表者を私の方で指名して決めます。したがって、履修登録確定後必ずすぐに教科書を買っておき、内容発表でどの章が割り当てられてもよいように必ず全12章を読んでおいてください。</p> <p>【履修をする上で必要な事項】</p> <p>授業は対面とオンライン(Teams)のハイブリッドで行いますので、発表者はプレゼン用のPPTをTeamsにアップできるようにしておいてください。</p> <p>【授業時間外学修についての指示】</p> <p>予習学修については、授業で提示いたしました内容について行ってまいります。また復習については、授業終了後に授業で教示しました内容についてまとめていってまいります。いずれの作業にも、授業内容と関連したことを調べたり、構想するために相当の時間を要します。</p> <p>また『日本経済新聞』の国際面での途上国関連記事や開発援助関連記事や論説にも目を通しておくこと。</p>			

授業科目名 (英文表記)	産業組織論 (Industrial Organization)		
単位数	1	授業形態	講義
担当教員	田村 正興		
開講	南紀熊野サテライト	区分	大学院
実施日・時間	第1回：6月22日(土) 13:00～17:00	第3回：8月10日(土) 13:00～17:00	
	第2回：7月13日(土) 13:00～17:00		

【授業のねらい・概要】

産業組織論とは、価格付け・参入阻止・カルテルなどの企業戦略の効果について分析するミクロ経済学の応用分野です。本講義では、分析対象を企業戦略のうち特に価格付け(プライシング)に絞って、理論的になりすぎることなくビジネスにおける実例を考えることで、実務にも「役に立つ」ような経済学的思考法を身につけることを狙いとしています。

【授業計画】

第1回

プラットフォームビジネス
価格差別戦略1

第2回

費用とは
価格差別戦略2

第3回

行動経済学と価格付け、小テスト

備考： 授業者人数により進度は変わります。

【到達目標】

プライシングと経済学的思考法を理解すること

【成績評価の方法】

授業中での発言回数・内容・プレゼンテーション(80%)、小テスト(20%)で評価します。

【教科書】

無し

【参考書・参考文献】

小田切宏之 「競争政策論 第2版」 日本評論社 2017年

【履修上の注意・メッセージ】

授業は教室での議論により進行し、成績評価も授業中の発言とプレゼンテーションに対して行います。
積極的な授業へのご参加を期待しています。

【履修をする上で必要な事項】

必要な知識は多くはありませんが、ミクロ経済学、特に需要曲線・供給曲線については初学者向け教科書程度の内容の理解があることが前提です。

【授業時間外学修についての指示】

予習とプレゼンテーション準備のため、時間外学習が必要です。2回目以降に必要ですので、適宜授業中に指示します。

2. 学部開放授業

授業科目名 (英文表記)	東牟婁地域の自然 (Nature of Higasimuro place. Wakayama Prefecture)		
単位数	2 (学部生のみ)	授業形態	講義・演習
担当教員	此松 昌彦、古賀 庸憲、高須 英樹 (非常勤)		
開講	和歌山県東牟婁地域 (フィールドワーク中心)	区分	学部開放科目
実施日・時間	第1回：5月11日(出) 13:00～17:00	第4回：7月20日(出) 13:00～17:00	
	第2回：5月12日(日) 10:00～17:00	第5回：7月21日(日) 10:00～17:00	
	第3回：6月2日(日) 11:00～16:00	各回で昼休みを40分程度と休憩を挟む	
【授業の概要・ねらい】			
<p>この授業では串本町から那智勝浦町沿岸部・丘陵部等といった地質・地形や磯や干潟の生物、植生を観察します。また田辺市中辺路町ではモミ・ツガ林などの内陸山地の植生についても観察します。</p> <p>東牟婁地域は地形的に四国と並び、険しい山が多く、沿岸部では海岸段丘や陸繋島などがあり、磯などが発達しています。地質的には付加体の堆積物、浅い海の堆積物、火成岩体など多様な地質が見られます。生物では磯や那智勝浦町の干潟の生物を観察することができます。植生では、シイ、ウバメガシなどからなる常緑樹林が見られ、また、モミ・ツガ林なども見られます。このような和歌山県東牟婁地域にある多様な地形・地質、多様な生物、植生を実際に観察し、理解することを目標とします。</p>			
【授業計画】			
第1回			
那智勝浦町周辺の自然1 (古賀・此松・高須(非常勤)・ゲスト：和田 恵次氏(和歌山県立自然博物館長) 那智勝浦町の干潟であるゆかし潟周辺の生物や地形などを観察する。			
第2回			
那智勝浦町周辺の自然2 (古賀・此松・高須(非常勤)・ゲスト：和田 恵次氏(和歌山県立自然博物館長) バス移動の予定 那智谷周辺の地形・地質や植生を観察し(土砂災害啓発センター見学)て、宇久井半島の自然を観察する。			
第3回			
田辺市中辺路町の和歌山県内陸部の植生・地形(此松・高須(非常勤)) バス移動予定 中辺路町周辺のモミ・ツガ林の観察			
第4回			
串本町周辺の自然1 (古賀・此松・高須(非常勤)) 串本町沿岸部における磯の生物と地質			
第5回			
串本町周辺の自然2 (此松・高須(非常勤)ゲスト：本郷 宙軌氏(南紀熊野ジオパークセンター) バス移動予定 南紀熊野ジオパークセンターを見学し、潮岬の自然、古座川周辺の自然を見学する。			
【到達目標】			
東牟婁地域を主体とした沿岸の地形・地質、海岸植生、内陸部の植生、磯の生物を総合的に学び、自然度の高さ、人間が関与した里山の自然と比較して、保全すべき自然について理解できる。			
【成績評価の方法・基準(学部生のみ)】			
各回でレポート課題を出して提出してもらおう(90%)。受講生の現地での態度(質問や意見などのやり取り)10%で行う。			
【教科書】			
特になし 資料は随時紹介します。			
【参考書・参考文献】			
虫たちの熊野 後藤伸 紀伊民報社 ISBN：978-4907841003			
明日なき森 熊野の森ネットワークいちいがしの会 新評論 ISBN：978-4794807823			
【履修上の注意・メッセージ】			
東牟婁地域でのフィールドワークを中心とした授業を行います。各回とも最寄り駅の集合になります。和歌山9時台発(特急くろしお)の列車で集合場所の最寄り駅に到着するように来てください。また、社会人は各自車で来ることも可能ですが駐車場などは各自で確保して下さい。集合場所など詳細は追って連絡します。連日の授業となるので宿泊の必要な方は、各自でご予約下さい。大学生では学研倍の加入、怪我等の対応のために保険料を徴収します。野外に出られない雨天の場合は、屋内での講義になる可能性があります。これについてもホームページなどで連絡します。			
【履修する上で必要な事項】			
特になし。			
【授業時間外学修についての指示】			
南紀熊野地域の自然(特に東牟婁地域)に関する情報などを、ホームページ等で調べて、事前にどんな生物が生育しているのか、どんな地質・地形をしているのかを予習しておいてください。			
【授業理解を深める方法】			
体験学習として実物の東牟婁地域の自然環境を見てもらいながら、地質・地形と動物、植物との関係を学び学習するものである。			

授業科目名 (英文表記)	紀州の食とマネジメント (Food and Management in Kishu)		
単位数	2 (学部生のみ)	授業形態	講義・実習
担当教員	出口 竜也、此松 昌彦、鈴木 裕範、ゲスト講師		
開講	田辺会場	区分	学部開放科目
実施日・時間	第1回：5月18日(土) 13:00～17:00	第4回：6月22日(土) 13:00～17:00	
	第2回：5月25日(土) 13:00～17:00	第5回：6月23日(日) 10:00～17:00	
	第3回：5月26日(日) 10:00～17:00		
【授業の概要・ねらい】			
<p>本講義は、紀州(特に紀南)の食文化とそれを支える産業の歴史の変遷、現状、そして今後の課題と展望について多角的に明らかにすることを目的としている。南北に広い国土を持つ日本は、外来の食文化を柔軟に受容しつつ、各地で独自の発展を遂げてきた。その多様性には目を見張るものがあり、2013年に「和食 日本人の伝統的な食文化」がユネスコ無形文化遺産に登録されたことは、その価値の高さが世界的に評価された証左である。本講義はこうした日本の食文化を紀州の視点から解き明かすことで、その価値を再認識するとともに、マネジメントの視点から持続可能な仕組みを検討していきたい。</p>			
【授業計画】			
<p>第1回 ガイダンス、「紀州の食文化を食産業」(総論：仮) 鈴木 裕範 紀州の食文化とそれを支える産業の歴史の変遷と現状について解説します。</p> <p>第2回 「紀州の気候・地形と食の特徴」 此松 昌彦、出口 竜也、GS：米田 晶氏 紀州の気候や地形が育む水の特徴を検討し、発酵を主とした各種加工技術について解説します。</p> <p>第3回 フィールドワーク 鈴木 裕範、此松 昌彦、出口 竜也 GS：米田 晶氏 御坊市周辺に所在する醤油、みそなどの工場を見学する予定です。</p> <p>第4回 「食を活用した地域振興」 出口 竜也、此松 昌彦、GS：米田 晶氏 食文化や食産業を活用した地域振興の可能性をマネジメント・マーケティングの視点から解説します。</p> <p>第5回 フィールドワーク 此松 昌彦、出口 竜也、鈴木 裕範、GS：米田 晶氏 すさみ町、串本町、那智勝浦町に所在する鰹節、酢、菓子工場などを見学する予定です。</p>			
【到達目標】			
<p>紀州の食文化の食産業の歴史と現状に関する知識を深め、その特徴を理解する。 食を活用した紀州の地域振興の可能性について、自分の言葉で語れるようになる。</p>			
【成績評価の方法・基準(学部生のみ)】			
<p>全体の85%は毎回の授業で課すレポートで評価し(講義15%×3回、フィールドワーク20%×2回)、残りの15%は受講時の質問や意見交換での積極性で評価します。</p>			
【教科書】			
特になし			
【参考書・参考文献】			
特になし。			
【履修上の注意・メッセージ】			
<p>田辺市内で対面授業を行うとともに、御坊市や那智勝浦町等に出向いてフィールドワークを実施します。また、第2回と第3回、第4回と第5回は連続2日間で実施します。</p>			
【履修する上で必要な事項】			
<p>第1回～第2回、および第4回は講義を行い、第3回と第5回はフィールドワークを実施します。また、講義の回においてもワークショップ等のグループ学習を行う場合もあります。</p>			
【授業時間外学修についての指示】			
<p>事前学習・事後学習で紀伊半島の特徴的な食文化やそれを支える食品産業としてどんな会社があるのかを調べてみてください。</p>			
【授業理解を深める方法】			
<p>日本の食を取り扱った雑誌記事や書籍を読んだり、テレビ番組を視聴すると、より一層理解が深まります。</p>			

授業科目名 (英文表記)	熊野祭礼学 (Kumano Ritual Studies)		
単位数	1 (学部生のみ)	授業形態	講義・演習
担当教員	吉村 旭輝		
開講	南紀熊野サテライト (田辺市)	区分	学部開放科目
実施日・時間	第1回：6月30日(日) 13:00～17:00	第3回：7月23日(火) or 24日(休)	
	第2回：7月7日(日) 13:00～17:00	※決まり次第連絡します	

【授業の概要・ねらい】

熊野を含む紀伊半島では、ありとあらゆる地域に祭りや祭礼が存在している。とくに熊野三山といった大寺社を有する熊野地域では三山の大神祭をはじめ、また農漁村では中世以来の地域コミュニティを主体とした祭りや江戸時代に城下町として栄えた田辺などの都市では都市祭礼として田辺祭が夏に行なわれるなど、多様な祭礼形態がみられる。

本講では、熊野三山、農漁村、都市での熊野の祭り／祭礼をその歴史的に講義で概観したうえで、近年の過疎化や少子・高齢化といった地域の現代的問題にも触れ、実際に田辺祭に参加し、実践的な民俗学として、熊野における祭礼の実態を学ぶ講義である。

【授業計画】

- 第1回 熊野三山の歴史と祭礼(座学)
- 第2回 熊野地域の農漁村と都市の祭り／祭礼(座学)
- 第3回 田辺祭参加(フィールドワーク)

【到達目標】

熊野地域の歴史を深く理解し、またそこで行なわれる祭り／祭礼との関係を深く理解し、現代にける熊野の実情と向きあえるようになることが目標である。

【成績評価の方法・基準(学部生のみ)】

各回のミニレポート(50%)、田辺祭レポート(50%) ※田辺祭参加の人は参加レポート、不参加の人は田辺祭について調べてレポートを書くこと。

【教科書】

特になし(毎回の授業で提示する。)

【参考書・参考文献】

芸能史研究会編(1981-90)『日本芸能史』1-7、法政大学出版局、和歌山県教育委員会編(2012)『熊野三山民俗文化財調査報告書』、吉村旭輝(2022)「紀伊藩御船手方と御船歌—旧藩領内の御船歌と浦組制度を中心として—」藤田達生編『歴史遺産が地域を拓く②紀伊半島の地域創生』清文堂出版、佛教大学アジア宗教文化情報研究所編(2008)『民俗芸能の現在』など

【履修上の注意・メッセージ】

第1回、第2回については南紀熊野サテライト(田辺市)において授業を行います。第3回については、田辺祭に実際に参加するため田辺駅集合となります。また、参加できない場合は別課題の提出が必要となります。

【履修する上で必要な事項】

7月23日 or 24日に開催される田辺祭のフィールドワーク(参加)を行なうため、それに参加できることを基本とする。(部分参加も可能) ※23日(火) or 24日(休)のどちらになるかは、4月中旬に決定するのでそれ以降に連絡します。

【授業時間外学修についての指示】

本授業の授業計画に沿って、準備学習と復習を行なうこと。さらに、田辺祭や同地に関連する課題の調査・考察を含めて、毎回の授業ごとに自主的学習を求める。授業時間の約2倍の時間外学修を要する。

【授業理解を深める方法】

参考書・参考文献とあわせて受講者自身の故郷あるいは現在の居所の祭り／祭礼だけでなく、年間をとおして行われている年中行事も調べ、予習復習をすることが重要である。

郵便はがき

ここに
63円切手を貼付
してください。



住所	
氏名	様

⑦

※以下は大学側記載欄なので、記入しないで下さい。

令和6年学部開放授業申請書類《前期》受付通知

- 【科目名】 東牟婁地域の自然
 紀州の食とマネジメント
 熊野祭礼学

あなたの令和6年度前期和歌山大学南紀熊野サテライト学部開放授業の申請書類を受付いたしましたのでお知らせいたします。

なお、授業開始案内(教室等お知らせ)は、授業開始日の10日前頃迄に郵送します。

〒646-0011 和歌山県田辺市新庄町3353-9-102

和歌山県立情報交流センターBig・u内

国立大学法人 和歌山大学南紀熊野サテライト

- 注) 1. 郵便番号、住所、氏名を記入し63円切手を貼り、申請書類を郵送時に同封してください。
2. 63円切手の貼付けの無いものは送付できません。
3. 申請用紙を窓口に持参する場合は、はがきの提出は不要です。

〈気象警報発令時の授業の取扱い〉

授業会場の所在市町村(田辺市)に「暴風警報」または「大雨警報」が発令された場合は、発令期間中の授業は休止となります。

詳しくは、南紀熊野サテライトホームページを参照してください。

和歌山大学南紀熊野サテライトホームページ

<https://www.wakayama-u.ac.jp/kii-plus/nanki-kumano/>

〈個人情報の取り扱いについて〉

本学が保有する個人情報は、「個人情報の保護に関する法律」等に基づき、次の方針を定め、適正に取扱います。

「国立大学法人和歌山大学における個人情報の保護に関する基本指針」
(和歌山大学HP)



※なんらかの支援または情報保障が必要な方は、3月29日(金)までに南紀熊野サテライトまでご連絡ください。